



パリパラリンピックも閉会し、オリンピックから続いたフランスでの熱狂が先日終了を迎えました。日本選手のメダルラッシュに興奮し、なかでもパラアスリートの活躍には大きな感動を覚えました。様々なハンディをもちながらも全力でプレイしている姿、この大舞台に至るまでの道のりは、過酷な努力の日々だったのではないのでしょうか。

地元豊橋出身の卓球パラアスリート八木克勝（やぎかつよし）さんの講演のなかでの言葉「自分が何かできないかと今日一日だけでも考えて欲しい」。毎日の努力、日々の積み重ね、大切なことは何をするのか考え行動すること。

4年後のロサンゼルス大会も大活躍してくれるはず、既に努力は始まっていますね。

園長 鈴木



- 3日（木）保護者勉強会「虐待防止」
- 5日（土）福祉まつり
- 10日（木）職員勉強会
13：30 帰り
- 11日（金）岡村 Dr.診察
- 16日（水）第2月曜日ハビリ
- 18日（金）誕生会
- 24日（木）総合防災訓練
- 25日（金）13：30 帰り
- 27日（日）運動会
- 28日（月）振替休日
- 30日（水）ティータイム分離



- 2日（水）増井（PM 田原）
- 15日（火）久保（田原）
- 16日（水）増井（PM 田原）
- 18日（金）水野（会内）
- 24日（木）増井（田原）



21日 れいくん 4さい

おたんじょうび
おめでとう！



- Aグループ 担当：田中
10：30～11：30
3日（木） 11日（金）
17日（木） 22日（火）
29日（火）

- Bグループ 担当：鶴野
10：30～11：30
8日（火） 30日（水）



- 10日（木）は職員勉強会のため、25日（金）は運動会準備のため13：30 帰りとなります。
- りくくんが9月3日にお兄ちゃんになりました。名前は叶真（とうま）くんです。おめでとうございます！





食具について



私たちは、食べる時にスプーンやフォーク、箸などの道具を使っていますね。食べるものによって使う道具も変えていて、道具によって操作は違ってきますよね。

お子さんに合った道具を用いていくことが自分で食べることにつながります。

最初に用いていくのはスプーンだと思いますが、まずは口の大きさや手の大きさに合っているかがポイントになります。口のサイズに合っていないスプーンを用いては食べ物を取り込みにくく、一口量も多くなってしまい、食べこぼしたり口のなかで処理がうまくできない場合があります。口の横幅の2/3の大きさがスプーンの適切な大きさと言われています。また、持つ部分が細すぎても太すぎても、短くても長くても手の操作と合っていないとうまくできない場合がありますので、適切なものを用いていくのがよいでしょう。



フォークも口の大きさや手の大きさに合っているものが適切です。フォークは刃の部分が平べったくて丸いものや、細くてとがっているもの、刃が3本のものや4本ものがあります。刺しやすいのはとがっているものですので成功体験が得られやすいです。また、刃が4本のものの方が食べ物によっては刺しやすいので、お子さんに合ったものを使っていくとよいでしょう。

お子さんによっては、OTの判断でT字型のスプーンやピストル型のスプーンを取り入れているお子さんがいます。それは、お子さんの手の形や操作の仕方などによって判断しています。それらを使用することで手の機能を高めて操作を広げたり、スプーンを握る上手持ち（手掌回内握り）からいずれの指先で持つ鉛筆持ち（動的三指握り）につなげていったりします。気になる方はOTまで声をかけてください。

ある程度年齢があがってくると箸を使用しているお子さんもいますが、興味があるならば使用してもよいです。しかし、スプーンやフォークを上手に操作できることが箸を使用するうえでの基礎となりますので、まずはスプーンやフォークで食べることに取り組んでください。

これから秋に向かっておいしい物がたくさん出てきます。「おいしい」ことをお子さんと共有しながら、自分で食べることにも楽しくとりくみましょう。

